

インド工場の本格稼働を開始 オープニング式典を開催

ヤマザキマザック株式会社(社長：山崎高嗣、愛知県大口町、TEL：0587-95-1131)は、インド工場(名称：YAMAZAKI MAZAK MACHINE TOOLS PRIVATE LIMITED)の本格稼働を開始し、6月28日(水)にオープニング式典を執り行いました。

およそ14億人の人口を抱えさらなる経済成長が期待されるインドでは、自動車をはじめ医療・航空機・半導体産業などの市場拡大に伴い、今後も工作機械の需要拡大が見込まれています。

こうした中、当社はインドでの迅速な製品提供とより高品質なサポートの提供を実現するため、新たに工場を建設、今年3月より稼働を開始しました。工場では、インド国内向けの新型の立形マシンングセンタ「VC-Ezシリーズ」を生産しています。

インド工場の本格稼働開始にあたり、お客様、代理店の方など約300名をお招きし、オープニング式典と工場見学ツアーを実施しました。

インド工場は2013年に稼働を開始した遼寧工場に次ぐ10年ぶりの海外生産拠点となります。当社はインドでの現地生産により、インド市場におけるシェア獲得を図るとともに、インド国内の製造業のさらなる発展に貢献していきます。



インド工場外観



オープニング式典の様子

ご参考_プレスリリース(2023年1月19日) https://www.mazak.jp/news-events/press-releases/india_factory/